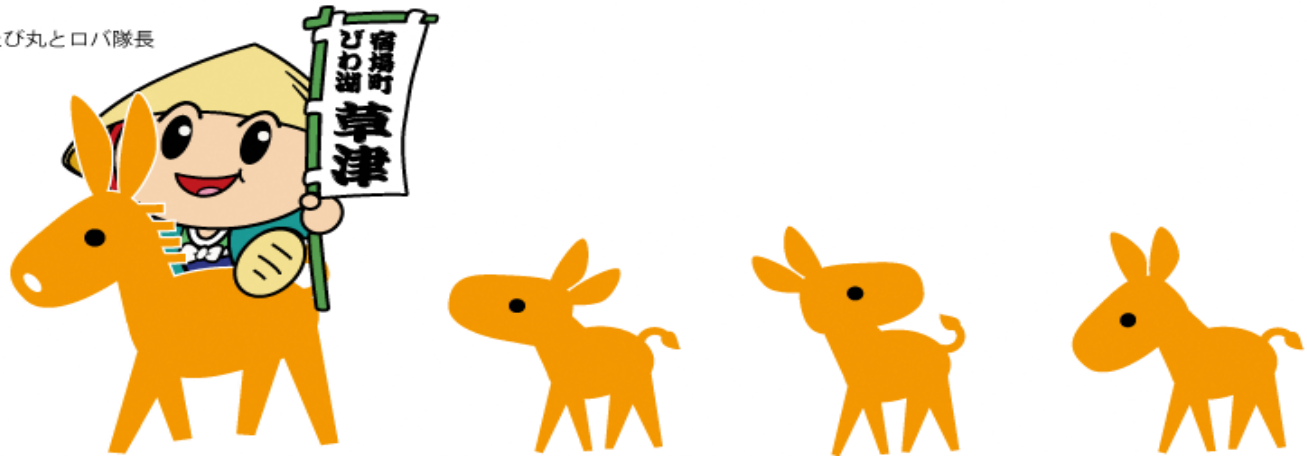


認知症当事者の本人ミーティングについて

たび丸とロバ隊長



たび丸とロバ隊長

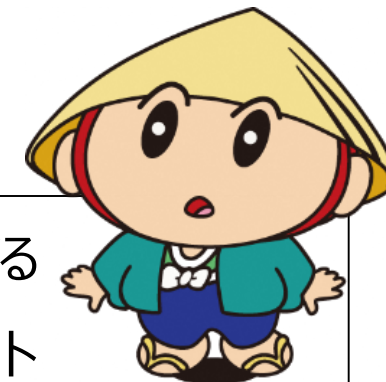


認知症当事者の視点を重視する動き

私たち抜きに私たちのことを決めないで！

Nothing about us, without us!!!

ークリスティーン・ブライデン氏



- | | |
|-------------|---|
| 2004年ごろ～ | 認知症当事者がカミングアウトし、当事者発信を始める動きが全国に広がる |
| 2011年9月 | 認知症当事者3人と関係者が呼びかけ、認知症当事者研究会がスタート |
| 2014年10月 | 日本認知症ワーキンググループの発足 |
| 2015年1月 | 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）に「本人視点の重視」が盛り込まれる |
| 2015年-2016年 | 認知症の人の視点を重視した生活実態調査及び認知症施策の企画・立案や評価に反映させる方法論等に関する調査研究事業*の実施 |

➔ **「本人ミーティング」**という手法が確立される

*認知症の本人の視点からみた認知症に関連する生きづらさを必要と感じていることを明確にするための調査の方法論を明らかにすること、調査の結果を通じて、認知症の本人の声を認知症施策の企画・立案や評価に反映させるための方法論を検討することを目的とした事業

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 2017年3月 | 研究事業を通じ、「本人ミーティング開催ガイドブック」が取りまとめられる |
|---------|-------------------------------------|

認知症当事者の意見聴取について

▶ 認知症施策推進総合戦略（新オレンジ・プラン）【抜粋】

<新オレンジ・プランの7つの柱>

認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進

I 普及・啓発

II 医療・介護等

III 若年性認知症

IV 介護者支援

V 認知症など高齢者に
やさしい地域づくり

VI 研究開発

VI 認知症の人やご家族の視点の重視

・認知症の人が住み慣れた地域のよい環境で**自分らしく暮らし続けるために必要と**感じていることについて実態調査を行う。

・**認知症の人同士のつながり**を築いて、カフェを超えた地域の中でのさらなる活動へとつなげていけるような**認知症の人の生きがいつくりを支援する取組を推進**する。

・認知症の人やその家族の視点は、本戦略だけでなく、地方自治体レベルで認知症施策を企画・立案し、また、これを評価するに当たっても尊重されることが望ましい。**認知症の人やその家族の視点を認知症施策の企画や評価に反映**させるための好事例の収集や方法論の研究を進め、これを発信することで全国的な取組を推進していく。

認知症当事者の意見聴取について

▶草津市認知症があっても安心なまちづくり条例（抜粋）

（市の責務）

第4条 市は、この条例の目的を実現するため、認知症に関する施策を総合的かつ計画的に実施するものとする。

2 **市は、認知症に関する施策の実施にあたっては、認知症の人およびその家族の視点を尊重する**とともに、市民、事業者、地域組織および関係機関と連携し、および協働して取り組むものとする。

▶草津市認知症施策アクション・プラン第3期計画

5つの基本目標

（1）認知症の正しい知識と理解を深めるための普及・啓発の推進

（2）認知症の人を含む誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

（3）認知症の予防等の取組

（4）認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の支援体制づくりの推進

（5）認知症の人およびその家族への支援

◇
認知症の人とその家族の
視
点
の
尊
重
◇

◇認知症の人とその家族の視pointsの尊重◇

認知症があってもできる限り住み慣れた地域や環境で自分らしく暮らし続けるためには、認知症の人の意思や家族の思いが尊重されることが重要です。このことは、他の5つの基本目標のすべてに共通するプラン全体の理念です。

認知症当事者の思いを知るために

アンケート？

インタビュー？

会議への出席？

関係者や家族への
聞き取り調査？

知りたいことに答えてもらうのではなく、
当事者の思いを、当事者の言葉で語ってほしい…



草津市でも**本人ミーティング**の実施を！

「本人ミーティング」とは、認知症の本人が集い、**本人同士が主になって**、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、**自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場**のこと。

「本人ミーティング」とは？

★本人ミーティングのねらい

- 本人ミーティングは、認知症の人の視点を重視したやさしい地域づくりを具体的に進めていくための方法です。



本人が自ら参加

- ①本人同士が出会い、つながる
- ②自らの体験・希望、必要としていることを率直に表す

本人ミーティング



①本人が地域づくりに参画する

- ③一人ひとりが生きがいをもってよりよく暮らしていくきっかけにする

- ④行政や関係者が本人の声を聴く
- ⑤本人の体験や気持ちの理解を深める

- ⑦自分らしく暮らし続けるために本人が必要と感じていることを把握し、発信・共有
- ⑧本人視点に立ってよりよい施策や支援をいっしょに進める
(企画・立案、実施、評価、改善の一連のプロセスを本人と一緒に)

本人ミーティングの意義

【本人】

本人同士が出会い、語り合うことで、仲間づくりができる。また、仲間とともに、自分の思いや希望を周囲に伝えることで、暮らしやすいまちづくりにつなげることができる。

【行政や地域等】

本人の思いを知り、理解することで、既存の取組の見直しや、本人が必要とする新たな取組を展開することができる。



「本人ミーティング」

◆ミーティングの参加者

▶認知症の本人

認知症の告知を受けた人で、「他の認知症の人と話してみたい」「自分の体験や思いを他の人や地域に伝えたい」など、「**集まりたい**」という意思を持っている人

▶その他の参加者

話し合いの進行役・サポート役、行政、関係者（オブザーバー）

◆実施までの流れ

- ①本人ミーティングの「必要性」と「ねらい」を話し合う 【納得・共有】
- ②当日話し合うテーマの素案を考える
- ③当日の参加者等の素案をつくる
- ④当日の流れ・シナリオ案をつくる ⇔ ⑤開催場所を決め、環境づくりを工夫する
- ⑥参加を呼びかける
- ⑦開催に必要な確認と配慮
- ⑧本人ミーティングの開催

様々な本人ミーティングのあり方

千代田区「実桜（みお）の会」

【実施主体】千代田区

【開催場所】ファミリーレストラン、カフェ、
高齢者福祉施設

【開催頻度】月1回

【テーマ】特に定めていない

【周知方法】区ホームページ、チラシ、
地域支援推進員から個別アプローチ等

【参加人数】5～6組（本人＋家族）

【その他】

- ・ファシリテーターは若年性認知症の方
- ・本人以外に、病院のソーシャルワーカーや認知症地域支援推進員、介護事業所職員等が参画

大津市 本人ミーティング

【実施主体】大津市

【開催場所】お寺のお堂

【開催頻度】月1回

【テーマ】特に定めていない

【周知方法】広く周知せず、個別アプローチ

【参加人数】2～3人

（自分で会場まで来ることができる人、もしくは
家族のサポートで会場まで来れる人）

【その他】

テーマは設定せず、他愛のない話題や、
日々の苦労話をされている。認知症に対する自
分の思いを語っていただく時間を設けている。

◆ 本日の協議事項 ◆

草津市で「本人ミーティング」を実施するために



- 参加者の確保 … ①周知方法
(どこで、だれに、どうやって)
- 関係者の確保 … ②進行役やサポート役
- 開催方法 … ③開催頻度 ④開催場所
⑤テーマ、流れ⑥人数規模
⑦盛り上げるための工夫等

本人ミーティングの実施主体や開催場所、参加者にルールや制限はありません。

市内にある資源や、様々なつながりを活かしながら、「本人ミーティング」の開催に向けたアウトライン※を組み立てたいと考えています。※具体的な企画内容は、本人にも関わってもらいながら作り上げていきます。